

CONTENTS

- ② がんばってますか 組合長です!
- ③ 表紙紹介
- ④ ニュース&トピックス
- ⑧ 営農のしおり/園芸だより
- ⑨ 園芸生産拡大への道/Pick up items
- ⑩ 女性大学マナビーマイト2017
- ⑪ 暮らしと福祉/みどりちゃんの共済講座
- ⑫ みんなのふれあいひろば
- ⑬ ベジタブルライフ/健康百科
- ⑭ クロスワードパズル/米粉レシピ集
- ⑮ インフォメーション/理事会だより
- ⑯ 水稲用一発処理除草剤バッチリ

今月の表紙

特別編

「啓翁桜」の新たな可能性見つける 花き部会花木専門部が東京都 イベント視察と店頭販売活動

当JA花き部会花木専門部は2月22日と23日、東京都でイベントの視察と店頭販売活動を行いました。高橋正幸専門部長のほか生産者など8人が参加した2日間の模様をお届けします。

1日目 2月22日(木)

東京都中央区の日本橋三井ホールで開催されたイベント「フラワーズバイネイキッドー輪舞曲ー」を視察。「日本で一番早いお花見を日本橋で」をテーマに、プロジェクトで空間や立体物に映像を映し出す技術「プロジェクトンマップピン」と音楽、踊り、「啓翁桜」を組み合わせた幻想的な世界を表現するイベントです。

1月23日から2月26日の開催期間中、当JA産の「啓翁桜」600本が会場を彩り、凛とした美しさを放ち観客を魅了していました。



▲左から高橋正幸専門部長と生産者の日下部真さん(松山)。幻想的な世界にびっくり

▼会場のイメージを伝える案内。「啓翁桜」と明記されています



「丹精込めた『啓翁桜』が消費者にどう受け止められているのか直接確認できてよかったです。イベントでの『啓翁桜』の姿に新しい可能性を感じた」と感想を述べていました。

高橋正幸専門部長は「啓翁桜」が消費者にどう受け止められているのか直接確認できてよかったです。イベントでの『啓翁桜』の姿に新しい可能性を感じた」と感想を述べていました。

2日目 2月23日(金)

この日は東京都目黒区の「(株)フラワーメッセーゾお花屋さん」でJA庄内みどりさくらフェアを開催し、「啓翁桜」300本とユリ200本を店頭販売しました。同部会が「啓翁桜」を店頭販売するのは今回が初めて。「啓翁桜」と庄内みどりの花きを消費者に直接アピールしました。

販売は午前11時から行い、店頭では消費者から「長持ちさせるにはどうすればいいですか」など質問が寄せられ、生産者らはきめ細かな対応でコミュニケーションを取っていました。

午後4時ころには完売となり、購入した人は「啓翁桜」は毎年飾っていたが、産地までは知らなかった。今回知ってより好きになった」、「桜が好きだが『啓翁桜』は初めて見た。生産者の方と直接話せてうれしい」などと話していました。



▲「どっちの枝がいいかな」選び方をサポート。何でもご相談ください



▲「きれいに咲かせるには一日一回霧吹きで水を吹きかけるのがコツ」丁寧な説明でコミュニケーションを取ります

